

協働的に問題を解決しようとする生徒

○自分の思いや考えを整理し、言葉で表現したり相手に伝えたりする力

(思考力・判断力・表現力)

○問題を解決するために取り組むべき内容や方法を課題として設定する力

(問題発見・解決能力)

本年度の授業づくりの重点

本年度の重点

問題の発見



課題の設定

めあて

課題に対する考えの表出 I

■ 初発の考え

対話活動

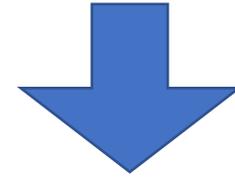
課題に対する考えの表出 II

■ 再構築
された考え

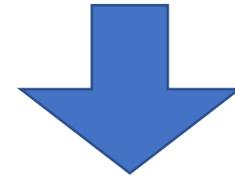
まとめ

振り返り

学習意欲を喚起する
課題設定の工夫



対話活動の充実



目指す生徒の姿の実現

学習意欲を喚起する課題設定の工夫

①単元を貫く課題

②ズレから生まれる課題づくり

①単元を貫く課題

(例：3年国語科「わたしを束ねないで」)

本文
光村 函書 国語3
新川 和江
「わたしを束ねないで」



「私を〇〇しないで」

生徒の初発の感想から、「私を束ねないで」のようなオリジナルの詩を書きたいという生徒の思いを基に、「私を〇〇しないで」というオリジナルの詩をつくろうと、単元を貫く課題を設定

②ズレから生まれる課題づくり

A

比較

B

わたしを怒らないで
お皿を割った妹のように
寝坊したお兄ちゃんのように
怒らないでください わたしはジャイアン
誰からも指図は受け
みんなのものはおれはジャイアン

わたしを怒らないで

宗岡 郁

(発問1)
「2つの詩の作者の伝えたいことは何？」

(生徒)
Aの言いたいことは分かるけど、Bの言いたいことはよく分からないな。

(発問2)
「2つの詩は何が違う？」

(生徒)
Bは言葉の意味が難しい
Bはイメージできない

本文
光村図書 国語3
新川和江
「わたしを束ねないで」

めあてにつなぐ